



感謝・祈り・練達

"Mastery for Service"

— 学校案内2020 —



関西学院中学部
KWANSEI GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL

School Emblem



関西学院の校章



1894(明治27)年に制定された、三日月の校章。この校章は、「今は不完全な私たちですが、新月がやがて満月となっていくように絶えず向上していきたい」という願いを表しています。また、月は自ら光を放つのではなく、太陽の光を受けて暗い夜を照らしています。「私たちも神の恵みを受けて、世の中を明るく照らしていきたい」。そんな願いも込められています。

院長・中学部長メッセージ

感謝・祈り・練達

With a thankful heart and prayer to achieve Mastery for Service



関西学院 院長
舟木 讓

関西学院の歴史と共に歩む誇りを胸に

関西学院創立時(1889年9月28日)に開校した普通学部を前身とする中学部は、関西学院130年の歴史と共に今日までその豊かな歩みを続けています。普通学部のシンボルであった「新月」は、90年前の上ヶ原キャンパス移転時にC.J.L.ベーツ第4代院長によって制定されたエンブレムにも刻まれ、現在は関西学院の校章として時計台から日々キャンパスで学ぶ人々を見守っています。「新月」がやがて豊かな光を放つ「満月」へと変化するように、豊かな成長への無限の可能性を秘めた中学生時代、関西学院の歴史を自らが紡いでいるという誇りを胸に、多くの出会いと学びの中で良き歩みを続けられることを心より祈っております。



関西学院 中学部長
藤原 康洋

学院キャンパスで一生の友と出会う

正門を入ると、うつむきかげんに座る少年像があります。1933年、海で溺れた従兄弟を助けるために自らの命を投げ出した白木真寿夫さん。「友のために自分の命を捨てること、これより大きな愛はない」という聖書の言葉に生きた関西学院中学部の先輩です。

仲間や隣人を心から大切に思うこと。キリスト教に基づくこの精神こそが、その人自身を真に生かしめ、豊かな人生の礎となると考えています。緑豊かなキャンパスで一生の友と出会い、切磋琢磨し、共に成長していくフィールド。それが関西学院です。



関西学院とは

他者のために、社会のために

“Mastery for Service”

“Mastery for Service”を体現する人材を育成

アジアやアフリカ、南米、シベリアにいたるまで自ら赴き、
 「世界の奉仕者」として生きた宣教師W.R.ランバスによって約130年前の
 1889（明治22）年に関西学院は設立されました。
 1910（明治43）年にカナダ・メソヂスト教会から派遣され、
 後に第4代院長になった宣教師C.J.L.ベーツが、創設者ランバスの精神を
 “Mastery for Service”という言葉で表現して以来、
 これが関西学院のスクールモットーになっています。

関西学院は“Mastery for Service”（奉仕のための練達）のもと
 キリスト教主義教育を通して勉学に励み、知識・技能を身につけ、それを用いて
 隣人・社会・世界のために奉仕する人を育成し続けています。



アメリカ人宣教師W.R.ランバスは上海で生まれ、祖国アメリカで医学と神学を修めた後、
 中国で医療活動と布教活動に従事。1886年に伝道の責任者として来日し、1889年、キリスト
 教主義教育による人間教育を実践するために神戸・原田の森に関西学院を創設しました。そ
 の後も医療宣教師として、世界中の人々を救うために国境や民族の壁を超えて働き、世界市民
 （World Citizen）として一生を送りました。

学院創立者 W. R. ランバス

Lambuth, Walter Russell (1854-1921)



カナダ・メソヂスト教会が関西学院の共同経営に参与した1910年、C.J.L.ベーツは関西学
 院に赴任し、1920年に第4代院長に就任。「私達が主たらんと欲する真の意味は、自分の一
 個の富を求めただけではなくて、それによって世に仕えるためなのである」として、学生たちに
 “Mastery for Service”（奉仕のための練達）を提唱しました。これが多くの共感を得て、
 現在も学院全体のスクールモットーとして受け継がれています。

第4代院長 C. J. L. ベーツ

Bates, Cornelius John Lighthall (1877-1963)



1947年、戦後の学制改革による新制中学部発足に際し矢内正一が初代部長となり、以後
 18年間部長として現在の中学部の礎を築きました。イギリスのパブリック・スクールに教育の
 理想を求め、中学部を学問のみならず精神や身体を自己鍛錬する場とするため、キャンプによ
 る共同生活、「師弟同行」の駆け足、読書教育などさまざまな取り組みを実践しました。その
 理念は今でも「教育の5本柱」として、中学部教育の支柱となっています。

新制中学部初代部長 矢内 正一

Masaichi Yanai (1900-1984)



自分のやりたいことを見つけて挑戦する そんな姿勢を身につける教育を推進しています

「5本柱」で独自の教育を実践

十
キリスト教

詳細は
P.6 ~



読書

詳細は
P.8 ~



英語

詳細は
P.10 ~



体育

詳細は
P.12 ~



芸術

詳細は
P.14 ~

MASTERY FOR SERVICE

中学部では、高等部、大学、大学院・専門職大学院まで続く一貫教育の根幹をつくるため、「Mastery for Service」というスクールモットーのもと、「キリスト教」「読書」「英語」「体育」「芸術」の5本を柱に教育を行っています。この独自の教育を通して「自分はいかに生きるべきか」を考えるとともに、豊富な知識も習得し、探究心、他者への愛を育みます。さらに国際的感覚と外国語運用能力、たくましい身体と精神力、創造力と豊かな感性を自らのものにします。自分で課題を見つけ、自分で考え、自分で調べて研究する自学自習・自主独立の姿勢を身につけることを目的としています。

受験勉強にしばられない「人間教育」

中学部から高等部への進学は推薦制をとっています。一定の学業成績を取め、人物・態度が推薦に値すると判断されれば全員が進学できます。そのため、高校受験にしばられることなく、社会で活躍するためのさまざまな能力を身につけ、豊かな感性を養い、人間性を磨く教育を実践しています。



※関西学院高等部および関西学院千里国際高等部への推薦率

「師弟同行」をモットーとする

「師弟同行」は中学部創設以来の伝統です。毎日の駆け足やマラソン大会、キャンプでは教員が生徒と一緒に汗を流します。相談を受けた教員は生徒と一緒に考え、目標を達成するまで見守ります。一人も見落とさない。一人も見放さない。常に生徒とともに歩む姿勢で生徒に接しています。



関西学院高等部への推薦制

高等部への推薦条件はおおよそ以下の通りに定められています。

- 出席日数が3分の2以上である。
- 1学期、2学期、3学期成績の総平均点が65点以上（100点中）である。
- 1学期、2学期、3学期成績の各教科の平均点が55点以上（100点中）である。



「一貫教育」だからできる連携・進路

高等部への進学だけでなく、高等部から大学への進学も推薦制をとっています。高等部には大学の教授による授業があるほか、一部科目において大学の授業を受けることができるプログラムがあります。また、キャンプや部活動では、中学部・高等部を卒業した大学生が指導を支援し、関西学院の精神を伝えます。

初等部 ▶▶▶ 中学部 ▶▶▶ 高等部 ▶▶▶ 大学

成長段階に応じた教育内容で、大学まで推薦によって進学できます。



Christian Education

キリスト教



神の愛と人間の尊さを学び 「いかに生きるか」をさぐる



毎朝の礼拝

中学部のキリスト教主義教育の根幹をなすもの。毎朝、全校生徒と教員が参加して行います。キリストの教え、神の愛を学び、「いかに生きるか」を自らに問いかけ、現実から逃げることなく勇気と希望を持って生きる者としての成長を促します。

3年間毎朝 **600回** 以上



さまざまな礼拝

イースター（復活祭）礼拝、母の日礼拝、花の日礼拝などの特別な礼拝を行っています。中でも聖歌隊の合唱と共にろうそくの灯のみで行うクリスマス燭火賛美礼拝は、年間の中学部の宗教行事のハイライトと言えるものです。

全校礼拝参加人数 **700人** 以上



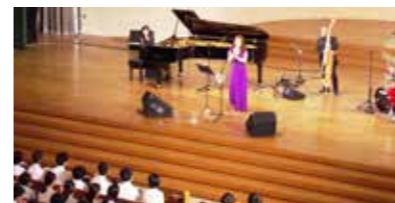
ボランティア

「人を愛し、人のために尽くす」精神は、関西学院で長年にわたり受け継がれてきたもの。礼拝や宗教運動の話に触発された生徒たちが、インドの農村に井戸や教科書を贈る運動を始め、さまざまなボランティア活動を行っています。



宗教運動

年2回、春と秋に開催されます。ゴスペル歌手、原爆の語り部、大学の先生などを講師に招いて礼拝を実施。テーマをめぐる話し合いをしたり、感想文を書いたりして理解を深めます。



学校生活の基盤となる、建学の精神

福島 旭

関西学院中学部 宗教主事



能勢 実祈

JHC(宗教部) 主務
関西学院中学部 2017年度 3年生

福島 礼拝の時間は学校生活の中でどのような意味がありますか。

かしていると思う言葉は何ですか。

能勢 礼拝で先生方やゲストの方々の講話を聴いて、相手のことを知ることができます。先生方と生徒との架け橋になる時間だと思います。

能勢 マタイによる福音書6章34節です。「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である」。この言葉で肩の力が抜けて、楽になったことが何度もありました。

福島 我が校の根幹を成している「キリスト教」についてどう思いますか。

福島 礼拝の講話で、印象に残っていることは何ですか。

能勢 礼拝などの学校生活、街頭募金などの奉仕活動の基盤となっている、重要な教えです。私たちが自分自身の思想や宗教観を形成するための、良いきっかけにもなっていると思います。

能勢 祖母を認知症で亡くされた先生の話です。私もおばあちゃん子なので、もし祖母から名前を忘れられたら耐えられるかなと色々考えて、祖母を大事にしたいなと思いました。

福島 聖書の中で、生活に結びついている、活

聖書科の授業

「聖書」を通して、いのち・人権・平和などのテーマについて学びます。愛し合い、共に生きる意味を考えます。



「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」



小田 悠貴
関西学院中学部 2018年度 2年生

J.H.C. (Junior Holy Club、宗教部) の部員として毎日の礼拝の運営に携わり、クラスの宗教委員も務めています。宗教委員になると礼拝でたくさんの生徒を前に話す機会があります。礼拝で話すことで、自身の経験をたくさんの人と「共有」できることを嬉しく思いました。「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」。僕の好きな聖句です。一人ではなく、仲間がいる。礼拝の時間は、僕にそのことを伝えてくれる大切な時間です。



Reading & Writing

読書



高校、大学、社会でも力になる「読書」



上田 しのぶ
関西学院中学部 2018年度 3年生

充実した図書館がある学校に通いたい。私が関西学院中学部を志望した一番の理由です。中学専用の図書館には、約60,000冊の本、漫画やDVD、インターネット環境も整っています。リクエスト制度もあります。読書科の授業でウェブ情報の活用方法、わかりやすく伝えるテクニック、文章の書き方などを学べます。1年かけて作成する卒業レポートは、中学3年間の学びを結集したものです。「読書」の授業で学んだことは、高校、大学、そして社会に出ても力になるものだと思っています。

これからの社会を豊かに生きる 自らが学ぶ力をつける

読む力

書く力

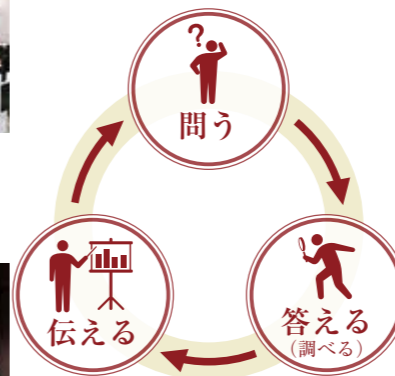
考える力



学びのサイクル



- 発表に対して質問する
- 質問に対して回答する
- 議論によって、新たな問いへ



- 概要(先行調査・研究)を知る
- テーマを定める



- ポスター、新聞、レポートなどでまとめる
- レジュメやスライドショーをつくる
- 周囲に発表する



- 参考資料を探し、評価する
- 仮説と論理を立てる
- 情報を集めて、整理する
- 現場におもむいて確かめる

週1~2回の読書科の授業

読書科は、50年以上も続く中学部伝統の授業です。読書の習慣づけはもちろん、探究の方法・技術を体系的に習得します。1年生ではメディアが集まる図書館の活用を、2年生では知識・情報の獲得・整理・活用の方法を、3年生では集大成として卒業レポートの作成を学びます。これらは各教科や校外学習や修学旅行などの行事と連携して、立体的な学びとなります。



さまざまなコンクールに出品

読書科の授業などで培った言語能力を試すために、言語活動に関するさまざまなコンクールに参加します。必要に応じて先生の指導も受けることができます。毎年多くのコンクールで入賞しており、絵本の原作が優秀と認められ、出版された生徒もいます。

10の外部コンクールで
のべ32人が受賞(2018年度)



まさに「生徒の図書館」です

河野 隆一
関西学院中学部 司書教諭



矢野 悠真
関西学院中学部 2017年度 3年生
図書部長

関西学院中学部 2017年度 3年生

河野 入学して、中学部図書館のことをどう思いましたか。

矢野 広いなあ、本が多いなあと感じました。わくわくしましたね。

河野 どれくらい中学部図書館を利用していますか。

矢野 毎日利用しています。中学生にコミットした資料や施設が提供されています。僕にとって当たり前の生活場所ですね。

河野 読書の授業はどのようなですか。

矢野 1年生では図書館について学びました。2年生では情報カードやタブレットを活用して、

グループでまとめることを繰り返しました。3年生では先生にアドバイスをもらいながら卒業レポートを書きました。今は「なぜグラバーは長崎に来たのか」の発表準備をしています。

河野 入学してくる後輩に向けて一言。

矢野 中学部の図書館はリクエスト制度が充実しています。また、生徒による新着POPや展示物など、まさに「生徒の図書館」です。でも先生や司書さんもいろんなことを教えてくれます。中学部の「読書」は、目の勉強だけじゃなく、私たちの将来まで考えてくれているプログラムだと思いますよ。

読書カードで読書の習慣化

どのような本を読み、どのようなことを知り、どのように考えたのか。読書カードに書いて、読書の習慣化をはかります。3年間書きためた読書カードは、自らの成長の記録でもあります。

中学部図書館
年間貸出冊数 20,000冊以上





English
英語

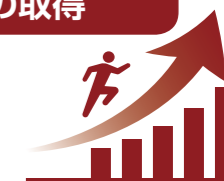


英語で考え、発信する力を鍛え 異文化理解を深める

コミュニケーション能力

異文化理解

資格の取得



ティーム・ティーチング 授業を実施

日本人教員とネイティブ・スピーカーの教員が協力して指導する「ティーム・ティーチング」を導入。これにより、「英語を母語とする人の特有の表現」を学ぶとともに「日本人がまずきやすい点」の克服を図ります。

英語授業数 公立の **1.5倍** (週6時間)



英文レポート作成と 日々の「多読」

2年生は「英語で書くこと」に慣れるため、3年生は「論理的に文章を組み立て、説得力のある英文」を書く訓練として、毎週英文のレポートを書き、提出します。エッセイや論文などさまざまなスタイルの英文を書くことができるように指導します。

英語多読 1年間1人あたり **50冊** 以上読破



実用英語検定試験の サポート

最終目標は、一般生徒は3年生で英検2級もしくは準2級、帰国生は英検1級相当の実力を身につけることです。自分の実力を明確にするために実用英語検定試験の受験を推奨、希望者を対象に模擬面接など試験対策の支援も行っています。

2018年度 実用英語検定試験合格者数実績

	1年生	2年生	3年生
3級	46	82	71
準2級	17	40	79
2級	5	8	18
準1級	0	3	1

(2018年度在籍生徒の合格実績)

英語弁論大会

冬休みには多くの生徒が英語の弁論原稿執筆に挑戦します。優秀と認められた生徒は、その内容を英語弁論大会で発表します。このほか学外の弁論大会や兵庫県内の暗唱大会に学年を問わず生徒が参加しています。



英語弁論の全国大会に出場し、視野が広がりました



福留 舞
関西学院中学部 2016年度 3年生

私は中学3年間を通して高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に挑戦し、3年目で全国大会に出場して、優秀賞を受賞しました。大会出場のメリットは、英語のスキルアップに加え、他の出場者のスピーチから新たな知識を得て視野が広がること。英語のスピーチ力が上がったのは学内の英語弁論大会で仲間と切磋琢磨したおかげです。2020年の東京五輪では通訳ボランティアに、将来は国際的に活躍する医師になりたいです。

英語の4技能をバランスよく習得

伊藤 彩貴
関西学院中学部 2017年度 3年生
英語部部長



塚本 真理
関西学院中学部 英語科教諭

塚本 中学部に入って、英語の授業を受けて最初はどのように感じましたか。

伊藤 入学当初は、初等部出身の生徒の英語力の高さに驚きました。でも、こつこつ努力をすることで追いつけたと感じています。

塚本 英語の授業の楽しいところ、しんどいところを教えてください。

伊藤 英語Iの授業は文法や単語を学習しますが、そこで学んだことに基づいて英語で発表するのが楽しいです。しんどいと思うのは英語IIの授業の中で、英語でエッセイを書くことです。難しくたいへんですが、エッセイを書く

ことで自分の考えをまとめるのは大切なことだと思います。英語の4技能(話す、書く、聞く、読む)をバランスよく習得するのは難しいですが、中学部の英語の授業では、それぞれの側面から英語力を育ててくれていると思います。

塚本 英語を学んで、どのように活かしたいと考えていますか。

伊藤 私は国連職員を目指しています。英語はツール(道具)です。英語力だけでなく、国際情勢を理解して橋渡しするための力も必要です。どの教科の学びも大切に、成長していきたいです。

諸外国・地域との 交流活動

海外の学校の生徒と文通をして互いの国について調べて、その内容を元にプレゼンテーションを行います。自分の英語が通じるかどうかを確認するとともに、同世代との交流を持つ機会になっています。





Physical Education

体育



3年間の駆け足で忍耐力や根気強さが養われました



川下 敦史
関西学院中学部 2015年度 3年生

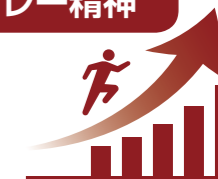
野球部の先輩が「駆け足努力賞」を受賞したことをきっかけに、自分も賞を取りたいと思うようになりました。友人たちと競い合いながら走った結果、次第に走るスピードが増して、距離が伸びました。また、3年生になった時は、最高学年として1・2年生を引っ張っていかなければという意識を持って駆け足に臨みました。3年間の駆け足のおかげで体が大きくなっただけでなく、忍耐力や根気強さが身につきました。

フェアプレーの心を育み 「できる」自信を獲得する

体力・持久力

自信

フェアプレー精神



週4日の駆け足

水・土曜日を除く平日の7時間目に、毎日3km以上を目標にした駆け足を全員参加で行っています。当初は1km、2kmしか走れなかった生徒も、次第に持久力と体力が向上し、走れる距離が伸びていきます。

3年間
1人平均 **900km**



遠泳

青島キャンプで行います。最初は数メートルしか泳げなかった生徒でも、日ごろの訓練により泳ぎ切れるようになり、自信へとつながります。コースに教員・大学生リーダーを配置するなど安全にも留意しています。

1000m



マラソン大会

日ごろの駆け足運動の成果を発揮するのがマラソン大会です。毎冬に武庫川の河川敷で開催します。「30位入賞を狙う」「完走をめざす」など、生徒一人ひとりが自分の目標を決めて参加します。

男子:10km
女子:7km



体育大会

体育大会の準備は2・3年生が担当。学年を越えた1～3年生でチームを組み、さまざまな種目で競います。激しくぶつかりあう競技もありますが、フェアプレーの精神と安全管理のもとで実施しています。



体育の授業

総合的な体づくりのために、陸上競技・器械体操・球技・武道・水泳などさまざまな種目のスポーツを行います。これらを通してスポーツマンシップやフェアプレー、チームプレーを学びます。



体育を思いっきり楽しんでほしい！

山道 修平
関西学院中学部
保健体育科教諭



江田 政紀
関西学院中学部2017年度3年生
陸上競技部主将

山道 学期ごとに週3回・3種目の授業をおこないましたが、どのように感じていましたか？
江田 曜日によって種目が変わるおかげで、苦手な種目もいつも新鮮な気持ちで取り組めていました。逆に、好きな種目が何種類もできる学期はとても嬉しかったです。サッカー・ソフトボール・卓球の時は最高でした！
山道 施設については、どのような印象ですか？
江田 室内プールは雨風関係なく授業ができ、とても快適でした。人工芝のグラウンドでは、雨の翌日も泥を気にせず、思いっきり走ることができました。

山道 体育の授業で一番嬉しかったこと、また授業を通して得られたことを教えてください。
江田 サッカーで友達と息が合ってプレイが成功したときや、苦手な鉄棒やマット運動でも練習を重ねて課題の技を成功させることができたときは嬉しかったです。何事も逃げずに努力することの大切さを学びました。
山道 体育の授業で得た経験を、今後どのように生かしていきたいですか？
江田 大人になってもスポーツを続け、健康に生活していきたいです。後輩たちにも、体育の授業を思いっきり楽しんでほしいと思います！



Arts

芸術

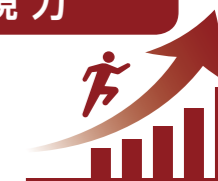


自分を表現できる喜びと 感動できる心を育む

個と協働

創造力

表現力



芸術鑑賞会

さまざまな芸術にふれる機会として、年に一度芸術鑑賞会を行っています。学校で演奏や伝統芸能を鑑賞したり、校外の劇場やホールに見に行くこともあります。プロの芸術や生の表現から得られる感動は、中学生にとって貴重なものです。その感動は、生徒自身の表現活動へとつながっていきます。



音楽コンクール

文化祭の最初に高中部礼拝堂にて行われる、各学年クラス対抗の音楽コンクール。指揮者、伴奏者、パートリーダーの生徒を中心に、音楽の授業以外の時間にもクラスごとに練習を繰り返します。本番では美しい合唱を披露します。一生懸命に取り組むことの大切さを実感し、クラスの絆を深めます。



美術展

文化祭の美術展では、生徒全員の作品を展示します。長い時間をかけて取り組んできた成果を、多くの方に見てもらい貴重な場です。友人や先輩、後輩の作品を鑑賞し、感想を聞き、生徒は美術展を通して新たな目標を発見します。3年生制作の最優秀ポスターは文化祭パンフレットの表紙になります。



演劇コンクール

文化祭ではクラス対抗の演劇コンクールも実施されます。演劇の経験がない生徒のために事前に劇の作り方をもとめた冊子を配付しますが、脚本の執筆から配役、使用する音楽、照明などの効果のすべてを生徒たちが自主的に決め、自分たちで行います。演劇は美術・音楽なども含んだ総合芸術であることから、一つの劇を作り上げる過程で自分の得意なことを見つける機会にもなっています。



一人ではできないことを、みんなで作り上げる

俳優・2004年関西学院中学部卒
演劇コンクール最優秀演技賞
前田 龍一
関西学院中学部2017年度3年生



俳優・2004年関西学院中学部卒
演劇コンクール最優秀演技賞
小堀 正博
the NEW WORLD 主演/脚本

小堀 最優秀演技賞受賞おめでとう。練習の時から順調だったのですか。

前田 いえ。脚本ができるまでが大変でした。先生の脚本へのダメ出しが厳しくて…。でも、その時の悔しさがクラスのみんなに火をつけたと思います。

小堀 個性的な演技だったけど、自分で考えたのですか。

前田 総監督や演技指導のクラスメイトが、歩き方やちょっとした仕草まで案を出してくれました。裏方のクラスメイトの支えがあったから、僕は演技を楽しめました。

小堀 道具、衣装、照明、音響も演劇には欠かせません。一人ではできないことをみんなで作り上げることで、「Mastery for Service」の精神を体感できますね。僕はそれをきっかけに役者になったけど、将来、どんな仕事に就いてもこの経験は役に立つでしょうね。

前田 はい。いい経験になりました。
小堀 これからも後輩たちがどんな演劇を作り上げるのを楽しみにしています。

大きな声で歌うことで、人前で話す自信もつきました



坂本 櫻
関西学院中学部 2015年度 3年生

中学部の入学式で高等部グリークラブの演奏に感動し、グリークラブに入部しました。最初は声量もなく、音もうまく取れなかったのですが、クラブ活動の時間に集中して練習するようにしました。関西学院中学部では、毎日の礼拝の時に賛美歌を歌います。これらの機会のおかげで、次第に大きな声が出せるようになりました。歌を歌うことによって自信がついて、人前でも大きな声で話すことができました。



学力の向上と定着を図るため 独自の教育を推進

月曜日から土曜日までの必修授業では、一般的な授業とともに、生徒が主体となる探究型学習が多くの教科において実践されています。教科や単元の特性や生徒の成長段階に応じて、何を伝えるのか、何で伝えるのか、どう伝えるのかをデザインしています。全教室に電子黒板が設置され、図書館を中心に200台以上のPC・タブレット端末が整備されるなど、自律的な学習者を育てる学習環境も整っています。

カリキュラム

	1年生	2年生	3年生
国語	4	5	5
社会	4	4	4
数学	5	4	5
理科	4	4	4
音楽	2	1	1
美術	1	2	1
保健体育	3	3	3
技術家庭	2	1	1
英語	6	6	6
読書	1	2	2
聖書	1	1	1
HR	1	1	1
計	34	34	34

*数字は平常授業における過当たりの時間数(適宜、特別授業あり)

校内生活時間表

	月・火・木・金	水	土
出席点呼	8:20		
授業開始	8:25		
1～3時限 ※1			
昼休み	授業終了 11:30		
4～6時限			
7時限終了	15:30 ※2	15:50	
下校完了	2月～10月 18:00 11月～1月 17:30		17:00

※1 1時限と2時限の間に礼拝を行います。

※2 月・火・木・金曜日の7時限目は、3キロ以上を走る全校駆け足の時間としています。



図書館・ICTを活用した授業

中学部専用の図書館には、60,000冊を超える本、20タイトル以上の雑誌、1,000枚を超えるCD、DVDなどの資料があります。またWebに接続できるデスクトップパソコン50台とタブレット端末50枚を用意。学校が契約している様々なデータベースも活用することができます。この恵まれた環境を活用した授業が、読書を中心に展開されています。図書館以外にも、英語や数学の授業でiPadを活用しています。



1年生社会科：地理的分野。世界の諸地域の特徴を、教科書をベースにして、図書館資料を活用してより発展的なことから個別に探究。



1年生技術科：データベースの基礎を学習したあと、タブレット端末のクイズアプリを併用して、習得した機能をどこまで活用できるかを確認。



1年生読書科：グループごとに奈良県日香地方を自由に探索する校外学習。その事前・事後学習としてポスターを作成。



2年生理科：天気の変化、とくに雲の発生について。生徒それぞれが事前に撮影した雲について、気象庁発表の情報で詳細に分析。



2年生読書科：情報メディアとしての新聞の特性を学んだあと、実際にペアで新聞を作成。その新聞を活用した発表を相互評価します。



3年生読書科：卒業レポートの作成。資料を読み込む生徒、データベースを活用する生徒、方法や進度は生徒それぞれ。「個」の学習に、図書館やICTの環境は欠かせません。



2年生数学科：単元「場合の数」には解法が複数あります。問いをタブレット端末で共有し、各自で解法を他人に説明できるようにまとめて、互いに発表しあいます。



3年生英語科：タブレット端末で英語の本を読み、その内容を音声でも聴き取り、テストに挑戦。英語のタイピングや、スピーチの録音など、さまざまなことに活用しています。



アクティブラーニング型授業

2年生の技術科では、班ごとにロボットを自由に設計・製作して競技をする、アクティブラーニング型授業を実施しています。生徒に渡されるのは、ロボットの部品と競技ルールだけ。設計図はありません。

- ・この材料はどのように加工すればよいのか？
- ・モーターの回転運動を変換してアームを動かす方法は？
- ・前後左右に走行するにはどんな電気回路が必要か？

授業を通じて様々な技能を身につけながら、生徒だけで問題解決のために創意工夫と試行錯誤を繰り返します。



競技ルールは毎年変更されるため、昨年のロボットを真似しても、インターネットで必勝法を検索しても、その年のルールにおいて強いロボットを作ることはできません。どんなロボットが最強なのか、先生も知りません。検索しても答えが見つからない問題に、あなたも挑戦してみませんか？



各クラスから代表チームを選び「創造アイデアロボットコンテスト」の近畿大会にも出場。関西学院中学部は7年連続で入賞し、全国大会へ進出しています。





国語科

読む・聞く・話す力を育て
自らを表現するための
「ことば」の力を磨きます



宮川 裕隆 教諭

私たちは常に「ことば」と関わりながら生きています。よく、読む・聞く・話すと言われますが、そのすべてに「ことば」があります。そして、この「ことば」と最も関係が深い教科が国語科です。そのため国語の学習はすべての学習の基礎となると言えるでしょう。文章を読んだり、聞いたりして理解し、話したり書いたりして表現する。自分を高めるためには多くの学びが必要ですが、あわせて「ことば」を磨くことも大切です。「ことば」があなたの人生を左右する、そう言っても過言ではないからです。



美術科

みる、つくるを通して
自分の「美」を探す



矢形 信子 教諭

何を美しいと思ひ、何に感動するのか知ることには、私たちの心を育み、豊かな人間性を育てることにつながります。美術の活動を通してこれらを探索し、自分が好きなものは何かを探ることが出来ます。授業では作品をつくる活動だけではなく、作品をみる活動にも力を入れています。自分は何んな作品づくりが好きで、どんな作品に感動するのか、友達は何に感動し、どんな作品をつくるのか。3年間のみる活動、つくる活動を通して生徒一人ひとりにとっての「美」を探します。



保健体育科

思いっきり
身体を動かして
楽しさ・喜びを実感



山道 修平 教諭

1年中泳げる室内プール、広い体育館、全天候型陸上競技場、人工芝グラウンド……など充実した施設の中で、思いっきり身体を動かしてみませんか。きっと爽快な気分になるはずです。授業では各種目専門の教員や講師による指導の下、いろいろな運動・実習が行われ、日々美しくたくましい心と身体が育まれていきます。運動部には男子11種目、女子も種目のクラブがあり、卒業生や大学生による支援体制があるのも本校独自の魅力です。本校の恵まれた環境の中で、思いっきり身体を動かす楽しさを一緒に体感しましょう！



社会科

変化の激しい世の中で
生きていくための
知識と力を身につけよう



谷口 勲 教諭

私たちが生きていく社会はとも変化が激しく、私たちは日々新しい未知の課題に対応する力が問われます。そのためには、その基礎となる確かな知識を得ること、また自ら考え、判断し、表現する力が必要です。現在につながる人々の歩みを紐解く歴史分野、多様な人々の文化の違いや生き方を知る地理的分野、現代社会のしくみを知り課題を見つける公民的分野。三つの分野を通して、今後私たちが会おう社会の見え方が、誰かがつくった社会から、自分たちでつくりあげる社会に変わっていくことが最大の願いです。



数学科

考え方について
考える時間を
大切にしています



山口 典彦 教諭

中学校からの数学ではxやyの文字を使って機械的に問題を解いていきます。算数に比べて退屈なようですが、この考え方に慣れてくると、小学生時代には想像もできなかった世界がはっきりと見えるようになってきます。基本的に「受験勉強」のない中学部の数学科では、計算力や論理的思考力を伸ばすとともに、この抽象的思考力を養うために、授業中に工作や実験をしたり、時にはとても難しい問題に挑戦したりしています。先を急がずゆっくり、たまには回り道をして数学の景色を楽しみながら一緒に勉強していきましょう。



技術・家庭科

ロボットづくりや
無人島での野外炊さん
実習を通じて学びます



大藤 泰生 教諭

技術・家庭科は私たちの日常生活（衣・食・住）や職業について学ぶための教科です。材料を加工しての「ものづくり」、電気などのエネルギーの利用、植物の栽培、情報機器の活用、家族との関わり、食生活、衣服の手入れ、住居の整理、環境への配慮……。技術・家庭ではこれらに関する知識や技能を、実習をまじえて習得していきます。ロボットコンテスト全国大会出場、自作ゲームのプログラミング、日常生活やキャンプでの調理、文化祭で使う衣装の製作など、生徒はさまざまな場面でこれらの知識と技能を活用しています。



英語科

英語の4技能を鍛え
自分の考えを英語で
発信する力を培います



山田 雄一郎 教諭

中学部では、高校・大学での学習に備え、語彙や文法の徹底的な反復練習を通して、英語を認知的・学術的に操作する基礎力を身につけることを目標としています。また、ICTを使ったリーディングやリスニング、ネイティヴスピーカーの指導によるライティングやスピーキングの活動を行い、英語の4技能を鍛えます。3年次には、各自が設定したテーマについてのリサーチやプレゼンテーション、自身の主張を述べる英語弁論など、思考を組み立てて英語で発信する活動を通して、英語の運用能力をさらに高めます。



理科

たくさんの実験を通して
科学の「おもしろさ」を伝え
知的好奇心を育みます



寺田 新 教諭

子どものときに理科が嫌いではないのに、大人になったら嫌いになる人が多い。なぜでしょうか。理科が「おもしろく」なくなったからなのでしょう。それは、まわりの大人が理科をおもしろいものだと教えてくれなかったからなのです。中学部には理科専用の教室が4つもあって、たくさんの実験を見たり、行ったりすることができます。卒業生は口をそろえて言います。「難しかったけど、たくさん実験があっておもしろかった」。そんな風に感じられる理科の世界を一緒にのぞいていきましょう。



音楽科

豊かな感受性は豊かな心から
たくさんのお音に触れ
感じる心を育てよう



金地 りょう子 教諭

「音楽には感情を増幅させる働きがある。映画や演劇等、見せ場に効果的な音楽を挟むことにより感動と涙を誘う」と言われますが、柔軟な精神、身体であるからこそ受ける感動がよりおおくなります。人間の感受性は勉強だけでは養われず、さまざまな物を体感し、怒って泣いて笑って……一生懸命生きて養われるものだと思います。中学部では日々の礼拝と授業を通してたくさん歌い、普段聴く機会のない、より多くの音楽に触れ、学んでいきます。自分の周りにある音や色彩に常に気付ける感受性豊かな人に成長して欲しいと思っています。



聖書科

愛と正義の意味を探り
いかに生きていくかを
楽しく真剣に考えます



福島 旭 教諭

1年生では関西学院の歴史や建学の精神を中心にこの学校で学ぶ喜びを探ります。関西学院の土台であり、生命線であるキリスト教について学びます。2年生では旧約聖書、3年生では新約聖書の物語やたとえ話を取り上げ、私たちがこの世になぜ生きているのか、何を目的に生きていけばいいのかを共に考えます。いのちや平和、いじめや戦争などをテーマとしてグループで対話する授業も展開し、共に生き、愛と思いやりをもって世界に仕える者として生きていく意味を考えます。



読書科

読んで、書いて、考える
高度情報化社会での
自立した学習者に



河野 隆一 教諭

関西学院は「読書」に力を入れています。図書館での「読書」という授業もあります。「読書」には、「書（本）を読む」という意味に加え、「読み書き」→「基本的な力をつける」という意味も。言語能力、論理的思考力、情報活用能力をつけます。その場となるのが中学校専用の図書館です。60,000冊の本のほか、雑誌、新聞、CD、DVDなどのメディア。Webはもちろん、さまざまなデータベースも使えるPCやタブレットが100台。図書館を基盤に、いろんな学びを総合して10,000字を超える卒業レポートに取り組みます。「21世紀型能力」を体得しましょう。



野外での共同生活を通して 「勇気」と「献身」を体験する

中学部教育における大きな特徴の一つがキャンプです。助け合いの気持ちと自立心、困難に立ち向かう精神力などを養います。1年生は入学式直後に行われる新入生オリエンテーションキャンプ、2年生は夏休みに青島キャンプに参加します。ともに学ぶ仲間と非日常の環境の中で生活することによって、普段の生活がいかに恵まれているものかを知るとともに、みんなのために汗を流すことの尊さを体験します。



1年生 千刈キャンプ (新入生オリエンテーションキャンプ)

入学式直後に実施 新しい友人とともに共同生活

1年生は中学生活の第一歩として新入生オリエンテーションキャンプに参加します。場所は三田市の関西学院千刈キャンプ場、2泊3日の日程で、同じ中学に入学した新しい仲間たちと共同生活を行います。キャンプには新3年生と大学生のリーダーが同行し、新入生は先輩の姿を間近に見ながら関西学院精神を学びます。このキャンプのハイライトが泥まみれになりながらラグビーをする「メチャビー」。泥をかぶりながらゴールをめざす「勇気」や、ボールを持った仲間をサポートする「献身」を体験します。

1日目	2日目	3日目
開会礼拝 旗揚げ ホームルーム キャンプ場内散策 晩祷	朝拝 野外炊さん メチャビー キャンドルライトサレシ	旗下げ 閉会礼拝 (キャンプ場内の片付け) キャンプデューティー クラス旗作成

学びの場を作るリーダーになりたい



園部 苺子 関西学院中学部 2017年度 1年生

千刈キャンプの野外炊さんでもできずにいた私でしたが、3年生の班付きリーダーが「自分で考えて行動しなさい」と声をかけてくださり、自ら行動する勇気がわきました。料理は少し失敗はけれど、班員と一緒に考えて行動したことで、たくさんの友だちができました。一人では苦しいことでも、仲間がいれば楽しめるということを学びました。3年生になったら、私も後輩のために素晴らしい学びの場を作るリーダーになりたいです。

2年生 青島キャンプ

無人島で自分たちの力で過ごす 4泊5日の「中学部の成人式」

2年生が体験する青島キャンプは「中学部の成人式」と呼ばれています。電気もガスも水道もない瀬戸内海の無人島・青島で、仲間とともにテントの設営から火起こし、食事づくり、草刈り、トイレの清掃、生ごみの処理まですべて生徒たち自身が行います。キャンプという不便な生活のなかで日々の生活の豊かさに感謝し、自ら進んで行動することの大切さや集団で生活することの意味などを学び、失敗を恐れず挑戦する姿勢が育まれます。キャンプが終わりに、家に帰る頃には身も心もたくましく成長していることでしょう。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
テント設営 島内めぐり	全体ワーク(島の開拓) 班別自由活動	遠泳(1km) 班別自由活動	カウンシルファイヤー 班別自由活動	キャンプデューティー (島内を自然の状態に戻す)

後輩たちに思いを伝えられることに感謝



辻 宏介 関西学院大学教育学部3回生/青島キャンプリーダー

青島キャンプは、ルールの中で各人が自由を享受する「横のつながり」と、先輩方から受け継いだ伝統に自分たちの色を重ねる「縦のつながり」を学ぶ場です。今でも当時の友と話す時に、青島の話は尽きません。僕が得た一生の友達、一生の経験です。卒業後もキャンプリーダーとして、後輩たちに思いを伝える場を与えられたことに感謝しています。将来は教員として、青島での体験を元に社会に貢献したいと考えています。



青島キャンプ





世界に視野を広げ、 世界のために貢献できる資質を養う

日本とは違う国・地域の文化や歴史、人、社会を理解し、偏見を持つことなくお互いを尊重する姿勢を育むため、中学部では国際交流に力を入れています。具体的にはインドへの親善訪問旅行や英語圏への研修旅行を実施。英語の上達だけでなく、生徒の視野を世界に広げる機会になっています。これからの時代に欠かせないグローバルな精神を養い、将来、世界のために貢献することができる資質を身に付けます。



3年生 インド親善訪問旅行



長い歴史を持つインド親善訪問 世界の課題を考える機会に

1983年から毎年夏休みにインド親善訪問旅行を行っています。これは3年生の中から参加希望者を募って行うもの。当初は生活基盤の援助活動を目的にしていたが、現在は農村部や都市部の訪問、「マザー・テレサの家」の見学、現地の子供たちとの交流やホームステイなどを通して異文化に触れ、交流を深めることを目的にしています。インドでは経済発展が著しく富裕層が続々と生まれる一方、飢餓や病気に苦しむ貧困層も多くいます。現実の状況に触れ、世界で何が起きているのか、どのような課題があるのかを考える機会になっています。

3年生 オセアニア英語研修旅行



英語力の向上と異文化理解を目的に 英語圏の国・地域の生活を体験

語学力の向上と異文化理解を図るため、英語圏の国・地域を訪問する研修旅行を毎年開催しています。これも3年生を対象に希望者を募り、夏休み期間中に行うものです。2014年度からはニュージーランド・クライストチャーチ市にあるミドルトン・グレンジ校への訪問を続けています。日本文化を英語で紹介するプレゼンテーション、授業への参加やホームステイ、寮生活、現地での農業体験などを通して、現地の子どもたちや住民の方々とは多様な交流を図っています。

人間の本质は同じだと感じました



津村 圭祐 関西学院中学部 2014年度 3年生

日本とは違う文化・社会の国の人と会いたいと考え、インド親善訪問旅行に参加しました。現地の子どもたちとサッカーをしたり、おもちゃで一緒に遊んだりした時、楽しいと感じる気持ちは誰でも同じなのだと気づきました。言葉や文化、生活水準の違いがあっても「人間は本質的に同じなんだ」と実感することができました。これからの人生で多くの国や地域の人と出会うと思いますが、先入観を持たずに接したいと思います。

言葉の壁を乗り越え、素晴らしい未来へ



サンデッシュ ラムデーケ (写真中央)
Ecumenical Development Centre of India 責任者

乾季になると水が手に入らない貧しい村々に井戸を掘る運動を起こした私たちに、関西学院中学部の生徒全員が献金をさげしてくれたことが交流のきっかけでした。以来、中学部とは38年にわたり友好関係を築いてきました。中学部の生徒は貧しい村々を訪れ、スポーツ・音楽・ダンスなどを通じて村の生徒たちと交流しています。若い生徒たちが異なる文化・伝統・言葉といった壁を乗り越え、素晴らしい未来を築いてくれるよう願っています。





Club Activities

クラブ活動

クラブ活動参加率

96%

(2018年度)

自分のやりたいことに チャレンジできる環境を整備

中学部には「宗教総部」「文化総部」「運動総部」の3種類のクラブ活動があり、多くの生徒がクラブ活動に参加しています。中学部を卒業した大学生がコーチとして指導することが多く、技術面はもちろん、世代が異なる人とのコミュニケーションやマナーを学ぶ機会になっています。さらに人工芝グラウンドや室内プール、全天候型の陸上競技場など、関西学院が所有する整備された施設・設備を利用できることも大きな魅力です。

※部員数は2018年度のもです。



吹奏楽部

(男子:4人 女子:44人)

2018: 兵庫県吹奏楽コンクール西阪神地区大会 中学校S部門 金賞 / 兵庫県吹奏楽コンクール 中学校S部門 銀賞 / 兵庫県アンサンブルコンテスト西阪神地区大会 中学校部門 トロンボーン3重奏金賞 クラリネット3重奏銀賞

2017: 兵庫県吹奏楽コンクール西阪神地区大会 中学校A部門 銀賞



野球部

(男子:58人)

2018: 新人大会 西宮市大会優勝 阪神大会優勝 兵庫県大会三位
2017: 総合体育大会 西宮市大会準優勝 阪神大会優勝
2016: 総合体育大会 西宮市大会優勝 阪神大会優勝 兵庫県大会優勝 近畿大会ベスト8
2015: 自治労カップ全日本少年軟式野球大会 兵庫県予選会 優勝 / 全日本少年軟式野球大会 近畿ブロック予選会 優勝 / 全日本少年軟式野球大会 全国ベスト8
2014: 総合体育大会 西宮市大会優勝 阪神大会三位



全国大会
優勝

タッチフットボール部

(男子:63人)

2018: 第7回 マリンボウル (東西中学校交流戦) 優勝 (日本一)
2016: 第4回 日本中学生アメリカンフットボール選手権 優勝 / 第5回 マリンボウル 優勝 ※ 2016年度は春秋シーズン共に日本一
2014: パナソニック杯 第69回毎日甲子園ボウル 中学招待試合 優勝



サッカー部

(男子:57人)

2018: 総合体育大会 西宮市大会優勝 / 西宮市中学生サッカー選手権大会 優勝
2017: 新人戦 西宮市大会優勝 / 西宮市中学生サッカー選手権大会優勝
2016: 総合体育大会 西宮市大会準優勝 阪神大会準優勝 兵庫県大会ベスト8
2015: 新人戦 西宮市大会準優勝 阪神大会準優勝 兵庫県大会準優勝
2014: 新人戦 阪神大会優勝 兵庫県大会準優勝
2013: 総合体育大会 阪神大会優勝 兵庫県大会優勝 近畿大会出場

チャレンジ精神で理想のチームを実現



異 章太郎 関西学院中学部 2017年度 3年生 タッチフットボール部 主将

私たちのチームは人数、スキル面において足りない部分だらけのスタートでした。しかし、厳しい状況の中でも、皆が同じ目標を共有し、努力を重ねたことで、互いに何でも言い合える理想のチームを創ることができました。私自身も主将として、気づいたことを自らチームメイトに発信できるようになりました。これからも、集団の先頭に立って指揮できるような存在になり、何事にも積極的にチャレンジする姿勢を持ち続けていきます。



みんなとつながる楽しさ



中西 美緑 関西学院中学部 2017年度 3年生 吹奏楽部 部長

吹奏楽部は女子生徒の入学と共に創部され、今年で6年目とまだまだ歴史の浅い部です。創部当初は楽器も何もない状態だったそうですが、たくさんの方々に支えられてコンクールや文化祭等で演奏しています。時に厳しく、時に優しくと、私たちが指導し、クラブの基礎を作って下さった先生、そして部員みんなのおかげで、ひとつの方向に向かって突き進んでいくことの楽しさを知り、仲間を思いやることの大切さに気づきました。



ラグビー部 (男子:17人 女子:0人)
2018: 兵庫県ラグビーフットボール大会三位
2017: 兵庫県ラグビーフットボール大会優勝 近畿大会出場
2016: 兵庫県ラグビーフットボール大会優勝 近畿大会出場
2015: 兵庫県ラグビーフットボール大会準優勝



テニス部 (男子:34人 女子:25人)
2018: 総合体育大会 兵庫県大会 女子団体三位 / 全国選抜兵庫県予選 女子団体三位 / 兵庫県私学大会 男子団体二位、女子団体三位 / 兵庫県新人テニス選手権 男子ダブルス三位 / 西宮市民体育大会 女子ダブルス優勝
2017: 総合体育大会 兵庫県大会 女子団体三位 / 全国選抜兵庫県予選 女子団体三位 / 兵庫県私学大会 女子団体二位



水泳部 (男子:17人 女子:15人)
2018: 総合体育大会 西宮市大会 男子総合優勝
2017: 総合体育大会 西宮市大会 男子総合優勝
2016: 総合体育大会 西宮市大会 男子総合優勝、女子総合優勝 近畿大会出場
2015: 西宮市新人大会 男子総合優勝、女子総合優勝 近畿大会出場 全国大会出場



ダンス部 (男子:0人 女子:27人)
2018: 第6回全日本小中学生ダンスコンクール 西日本大会 銀賞、全国大会 銅賞
2017: 第5回全日本小中学生ダンスコンクール 西日本大会 銀賞
2016: 第4回全日本小中学生ダンスコンクール 西日本大会 銀賞
2015: 第3回全日本小中学生ダンスコンクール 西日本大会 銀賞



理科部 (男子:23人 女子:4人)
2018: 青少年のための科学の祭典 2018 ひょうご神戸会場 奨励賞 / 科学の祭典 2018 出展 / 創造アイデアロボットコンテスト 近畿大会 審査員特別賞、全国大会出場
2017: 青少年のための科学の祭典 2017 ひょうご神戸会場 奨励賞 / 科学の祭典 2017 出展 / 創造アイデアロボットコンテスト 近畿大会優勝、全国大会出場



バレーボール部 (女子:13人)
挨拶・礼儀を大切に活動しています。バレーボールの本質に触れ、阪神大会上位入賞を目標に練習に励んでいます。



陸上競技部 (男子:22人 女子:29人)
2012～2018: 総合体育大会 兵庫県大会出場 (100m、400m、110m ハードル、800m、男子リレー、女子リレー)
2009～2011: 全国中学校総合体育大会出場 (男子 100m、200m)



バスケットボール部 (男子:40人 女子:39人)
男子チーム・女子チームともに市内大会ベスト4、阪神大会出場をめざして日々熱心に基礎練習を重ね、公式戦でも勝利を重ねています。



図書部 (男子:16人 女子:32人)
2018: 図書館を使った調べる学習コンクール 佳作
2017: 図書館を使った調べる学習コンクール 奨励賞
2016: 図書館を使った調べる学習コンクール 佳作
2015: 図書館を使った調べる学習コンクール 佳作
学校図書館の運営をサポート。学校図書館を基盤に調査・研究。



英語部 (男子:1人 女子:9人)
2018: 兵庫県私立中学校 第14回英語レシテーションコンテスト入賞 (三位) / 第6回百合学院杯中学生英語歌唱大会出場 / 第39回関西女子英語歌唱大会出場 / 大阪英語村での体験学習、海外オンライン英会話学習、人形劇公演など。
2017: 兵庫県私立中学校 第13回英語レシテーションコンテスト入賞 (二位)
2014: 兵庫県私立中学校 第10回英語レシテーションコンテスト入賞 (二位、三位)



卓球部 (男子:33人 女子:26人)
2018: 新人戦 西宮市大会 男子団体三位 / 総合体育大会 西宮市大会 女子団体準優勝、男子団体 (下級) 準優勝 / 西宮市民体育大会 女子団体優勝、男子団体 (下級) 準優勝
2017: 新人戦 西宮市大会 女子団体優勝 男子団体 (下級) 優勝 女子団体 (下級) 準優勝、阪神大会 女子団体三位、兵庫県大会 女子団体ベスト16 / 西宮市民体育大会 男子団体優勝



剣道部 (男子:12人 女子:4人)
2015: 兵庫県私学大会 女子団体戦三位
2014: 新人戦 兵庫県大会女子団体戦ベスト16 / 兵庫県私学大会女子団体戦三位

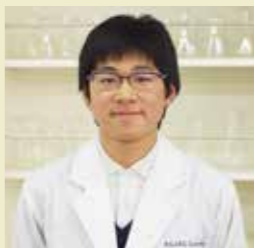
見に来て下さる方を笑顔にしたい



中野 紗羽 関西学院中学部 2017年度 3年生 ダンス部 主将

ダンスの楽しさを伝えたい! そんな思いを胸に、選曲、振り付け、衣装、構成など全てを自分たちの手で創り上げてきました。予定通りにいかない時も、チーム一丸となって乗り越えられました。この経験を通じて、お互いの力を信じて取り組めば、できないことはないと思えました。初心を忘れずに、今後もダンスを続けて、自分見に来て下さる方も笑顔にできるようなダンスを創っていきます。

大切なことは、団結して熟慮すること



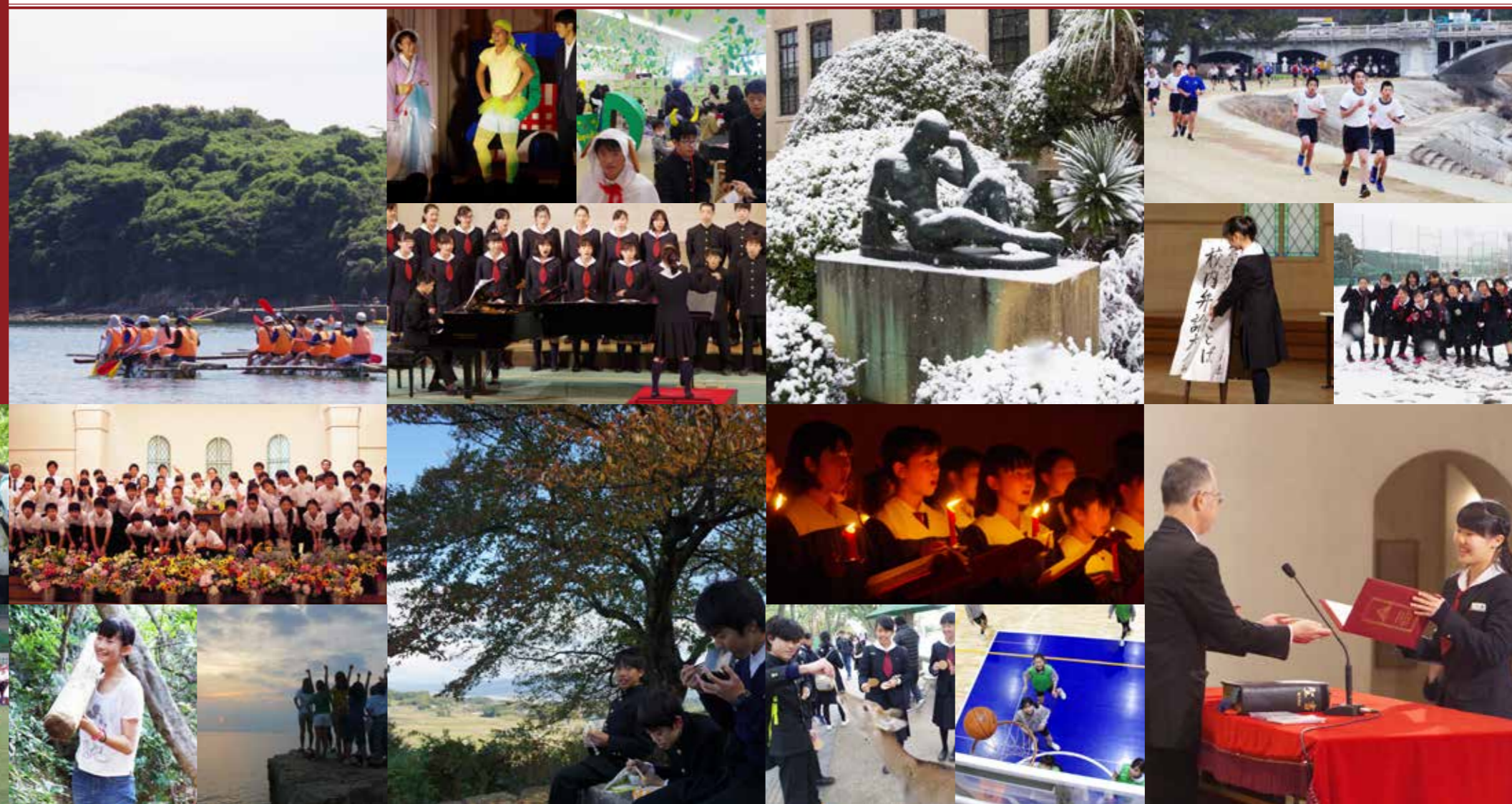
杉本 智哉 関西学院中学部 2017年度 3年生 理科部 部長

「団結」と聞くと団体競技が連想されますが、どのような分野・活動も皆が団結して助け合えば何れも成し遂げられないことを学びました。文化祭に向けて、部員から出た様々な意見・案を皆で話し合った結果、大切なことは全てを実現させることではなく、熟慮してベストな方法をとることだと気づきました。文化祭当日、自分達が作った展示物や、実演した実験でお客様の笑顔を見られたことが嬉しかったです。



豊かな人間性や自主性、 独立心を育む各種行事を実施

中学部では国際交流やキャンプをはじめとする多彩な学校行事を行っています。自分の内面や生き方に向き合う宗教的行事、文化祭や体育大会、文芸コンクールやマラソン大会、校外学習などを通して新たな気づきを得たり、自分の個性を発揮したりしています。



4 April

- 入学式
- 新入生千刈キャンプ
- 始業式

5 May

- 健康診断
- 母の日礼拝
- 新入生歓迎体育大会
- 春季宗教運動
- 人権教育講演会
- 中間試験

6 June

- 教育実習
- 花の日礼拝

7 July

- 期末試験
- 防災訓練
- 期末特別行事
- 終業式
- 3年生海洋冒険キャンプ

8 August

- 3年生インド親善訪問旅行
- 3年生英語圏への研修
- 2年生青島キャンプ
- クラブ合宿

9 September

- 始業式
- 国数英課題試験
- 文芸コンクール
- 創立記念日

10 October

- 中間試験
- 秋季宗教運動
- 人権教育講演会

11 November

- 文化祭
- 3年生修学旅行
- 1・2年生校外学習
- マラソン大会

12 December

- 期末試験
- 球技大会
- クリスマス燭火賛美礼拝
- 終業式

1 January

- 始業式
- 入学試験

2 February

- 日本語弁論大会
- 英語弁論大会
- 3年生学年末試験

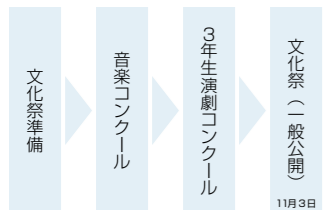
3 March

- 1・2年生学年末試験
- 卒業式
- 映画会
- 大掃除
- 終業式
- クラブ合宿

文化祭

11月の文化祭は、5日間にわたって準備・発表が行われる、中学部の一大イベントです。この日のために1年間をかけて調査・研究をしている団体もあり、レベルの高い展示内容となっています。

一般公開の日には宗教部・文化部の展示発表、演奏・演劇・ダンスのステージ、クラスやPTAによる出し物、全校生徒の作品が展示される美術展などが行われます。毎年、数多くの方々にご来場いただき、好評を得ています。



校外学習・修学旅行

1、2年生の校外学習では、奈良の遺跡や寺社をまごに見学します。事前に学習し、計画を立て、生徒だけで自主的に行動します。調査結果はポスターや壁新聞にまとめて発表します。



3年生の修学旅行では長崎や島原・阿蘇など九州各地を訪れ、一人ひとりが読書科の卒業レポートのテーマについて現地調査を行います。また、長崎市では「被ばく遺構・碑めぐり」などを行い、平和の意味について考えます。



生徒会活動

体育大会や弁論大会などの学校行事について生徒会役員を中心に実行委員会を組織し、企画・運営に参加。このほか近隣の清掃活動、骨髄バンクキャンペーンなどの奉仕活動も行っています。



少数意見を生かす仕組みづくりに注力

中学部には生徒の代表が学校側に要望を伝える生徒会があります。要望はどうしても多数意見に偏りがちなので、埋もれた少数意見にも光を当てたいと思い生徒会選挙に出馬。中学部初の女子生徒会長になりました。「みんなが主役、みんなで作る K.G.J.H. (Junior High School)」をモットーに活動を開始。広く意見を募る「生徒会ポスト」を設置したほか、ポストに寄せられた意見から食堂の人気メニュー提供数の見直しを行いました。また、全校生徒に生徒会の活動を伝える「生徒会活動新聞」を月1回発行しました。今後もみんなの意見が反映される学校づくりに貢献したいと思っています。



森田 真帆 関西学院中学部 2016年度 3年生 生徒会会長



School Life

関西学院中学部生の1日

8:00 登校



中学部生は阪急甲東園駅または阪急仁川駅から、徒歩で登校します。

8:20 出席点呼



8:25 授業 (1時間目)



9:20 礼拝



関西学院中学部が最も大切にしている折りの時間です。毎朝、全校生徒と教員が参加して行います。

10:45 授業 (3時間目)



9:50 授業 (2時間目)



11:30 昼食



H R 教室や中庭で友人と弁当を食べたり、食堂へ行ったりしてすごします。

12:20 授業 (4時間目)



13:15 授業 (5時間目)



14:10 授業 (6時間目)



15:00 全校駆け足



水・土曜日を除く平日に、全校生徒参加で実施。3km以上を目標に、先生も一緒に走っています。

18:00 下校



冬期は17:30、土曜日は17:00下校となります。

16:00 放課後



多くの生徒がクラブ活動や生徒会活動に参加。必要に応じて補習も実施されます。

15:40 終礼



Frequently Asked Questions

学校生活Q & A

Q1 共学化しましたが、男女比は怎么样了ですか？

A1 男女比は、概ね5：3で構成しています。入試もこれを前提としており、一般入試の募集定員は男子約90名、女子は約50名となっています。

Q2 登下校はどのようなルートになりますか？

A2 阪急電車を利用する生徒は、最寄の甲東園駅から仁川駅から徒歩で通学します。甲東園駅から関西学院前までの阪急バスがありますが、原則中学部生の使用は認めていません。また、西宮北口・JR西宮方面からの登校についてはバスの利用を認めていますが「一ヶ谷町」か「愛宕山」で下車し、そこから徒歩で通学します。中学部生の自転車通学は認められていません。

Q3 携帯電話やスマートフォンの扱いはどのようになっていますか？

A3 学校に持ってくることは認めていません。また、学校としてはSNSの利用などは推奨していません。

Q4 昼食はお弁当を持参するのですか？

A4 入学当初はお弁当持参となりますが、「食堂利用の方法」を学年で指導したあとは食堂利用も可能です。食堂にはうどんやラーメンなどのメニューもありますが、成長期の栄養バランスを考慮し、中学部生は「ヤングランチ(430円)」を食べるルールになっています。また、食堂内にはパンショップもあり、そこで軽食を購入することもできます。

Q5 制服や体操服以外の制定品はありますか？

A5 制服や体操服以外に制定品はありません。通学カバンは華美なものではなく自由です。通学の際の靴は、黒色の装飾のない革靴(タッセルやヒールは不可)か黒色の運動靴(靴紐や靴裏もふくめて黒一色のもの)と定められています。



スパニッシュ・ミッション・スタイルの 美しいキャンパスで学ぶ

関西学院中学部は大学と同じ上ヶ原キャンパスに立地しています。W.M. ヴォーリスがキリスト教主義のもとに設計した美しい校舎が特長です。中学部の生徒は、大学の図書館・グラウンド施設も利用可能です。

西宮上ヶ原キャンパスマップ



■中学部棟
2011年完成した新校舎。ヴォーリス建築の形式を受け継いだ建物です。3階建てで、普通教室、中学部図書館、教員室、理科階段教室、理科実験室などがあります。



■温水プール（体育館地下）
体育館の地下1階にあるプール。季節・天候に左右されず泳ぐことができます。



■高中部本部棟
1933年、関西学院の上ヶ原移転に際して建てられた、ヴォーリス建築の名作です。



■中礼拝堂（高中部本部棟2階）
10,000人を超える卒業生の氏名が刻まれた銅板が生徒を見守ります。



■HR教室（中学部棟1～3階）
すべての教室にプロジェクターと電子黒板を設置。授業の理解度を高めます。



■中学部図書館（中学部棟1階）
蔵書数6万冊を超える中学部専用の図書館。パソコンやタブレットも利用できます。

中学部の制服

キリスト教主義に基づく人間教育を実践するというメッセージを込めた品格ある制服を採用。男子生徒の冬服は伝統を受け継ぐ黒の詰襟で、襟には三日月の襟章をつけます。一方、女子生徒の制服（冬服）はジャケット、ジャンパースカートなどを着用します。夏服は男女ともに規定のポロシャツを中心に構成しています。



PTA / Alumni Association and Related Activities

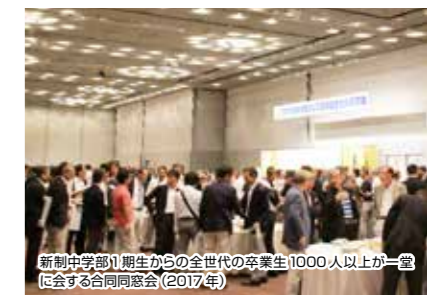
PTA・校友会活動・同窓会

関西学院後援会

関西学院で学ぶ学生・生徒・児童の保護者によって設立されたもので、関西学院の教育目的を達成するための後援活動を行っています。関西学院の教育・研究活動および正課・課外活動の活性化に加え、保護者とのコミュニケーションの推進と緊密化を図るため、さまざまな事業を行っています。

同窓会

強い絆で結ばれた母校を誇りに思う卒業生が、世代を超えて集う同窓会も活発に活動しています。関西学院全体の同窓会活動に加え、中学部同窓会が単独で行う活動も積極的に実施しています。中学部という同じ学び舎で学び、現在は国内外で活躍する同窓生が有形・無形の支援を行っています。



新制中学部1期生からの全世代の卒業生1000人以上が一堂に会する合同同窓会(2017年)

PTA

生徒・教員・家庭の三者の協力と信頼関係を重視する中学部においては、PTA活動を重要なものと位置づけています。各種学校行事への参加のほか、学期ごとの全体集会ではクラス懇談会とともに、講師を招いて教育研究会を開催。そのほかにも新入会員歓迎会や「聖書を学ぶ会」、年3回の「PTAだより」発行などの活動が活発に行われています。



水野 明人
中学部同窓会長

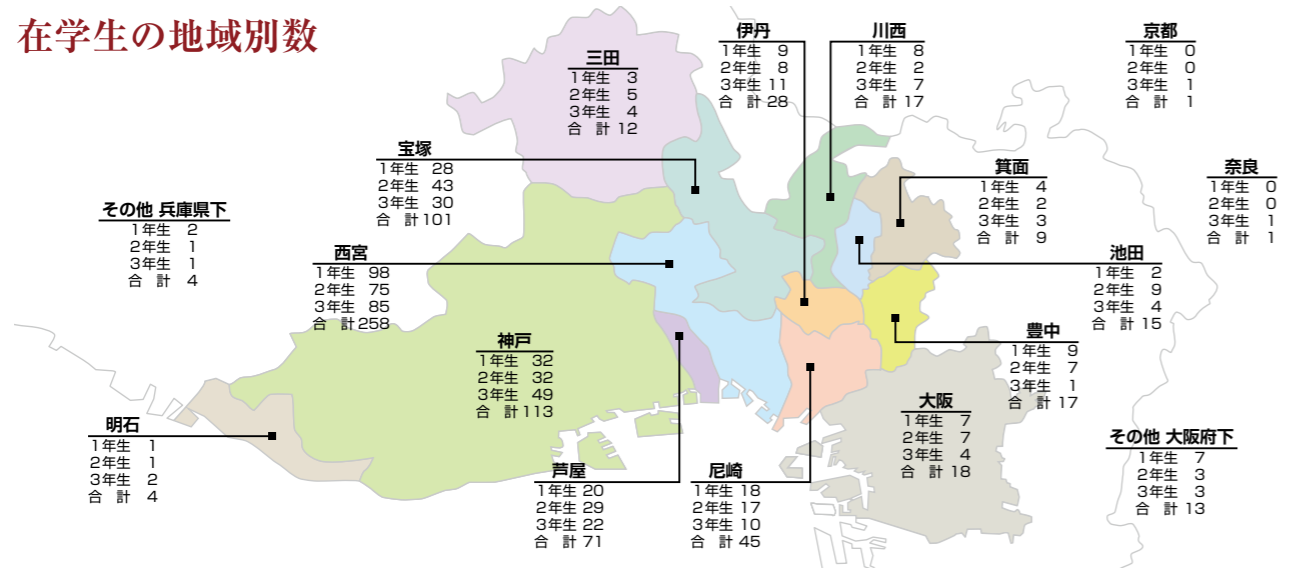
中学部同窓会にはすべての中学部卒業生が登録され、現在では1万人を超える大規模な同窓会になっています。各学年で行われている活発な同窓会に加えて、5年に一度合同同窓会が行われ、80歳を超える第1回生をはじめとして60歳以上の卒業生が一同に集まり、盛大な式典が行われます。次回は2022年9月に中学部創立75周年記念の合同同窓会が開催される予定です。母校愛に満ち溢れる卒業生はそれぞれが友情によって横に紡がれ、中学部同窓会ではさらにその友情を縦に紡いでいきます。今やその繋がりには日本中に広がり、世代や職業の壁を越えて「関学ファミリー」の基盤を形成しています。



在籍生徒数 (2019年4月現在)

1年生 **248** 名 2年生 **241** 名 3年生 **238** 名 合計 **727** 名

在学生の地域別数



入学試験 (2019年度)

	①志願者・合格者		②科目別受験者平均点			③合格者最高点・最低点		志願者・合格者	
	志願者	合格者	国語 (200点)	算数 (200点)	理科 (100点)	最高点 (500点)	最低点 (500点)	志願者	合格者
一般生 男子 (募集人員約95名)	196	103	142	123	64	435	332	39	39
一般生 女子 (募集人員約45名)	136	71	151	123	68	439	340	41	41
帰国生 (募集人員若干名)	2	1	-	-	-	-	-	-	-

卒業生

■ 中学部卒業生の進路

	2017年3月	2018年3月	2019年3月
卒業生数	239	241	236
関西学院高等部	228	221	208
関西学院千里国際高等部	-	3	5
他の高校等	11	17	23

■ 高等部卒業生および関西学院大学進学状況

	2017年3月	2018年3月	2019年3月
卒業生数	305	382	380
神学部	0	0	0
文学部	17	42	24
社会学部	30	50	50
法学部	12	26	21
経済学部	67	70	70
商学部	75	75	70
理工学部	44	15	28
総合政策学部	20	21	28
人間福祉学部	4	19	18
教育学部	5	10	18
国際学部	14	25	25
合計	288	353	352

●他大学合格状況 2019年(現役) 慶應義塾大学・早稲田大学・明治大学・国際基督教大学・大阪大学・大阪薬科大学・京都外国語大学・京都府立医科大学・兵庫医科大学

学費 (2020年度分)

入学手続時のみの納入金	
入学金	200,000
同窓会入会金 ※	2,000
生協出資金 ※	12,000
合計	214,000 a

学費・諸費	1年分	初回分納金
授業料	635,000	
教育充実費	249,000	
図書購入費 ※	6,000	
生徒会費 ※	10,000	
PTA会費 ※	15,000	
後援会費 ※	3,000	
教材等前納金 ※	55,000	
旅行費積立金 ※	55,000	
合計	1,028,000	353,000 b

PTA継続事業費 ※	10,000 c
合計	363,000

●学費・諸費は入学手続時および9月、12月の3回に分納していただきます。
 ●入学手続時納入金額：a+b+c=577,000円
 ■関西学院教育研究等振興資金募金：30万円以上を入学後任意でお願いすることになります。
 ※は未定のため2019年度の金額を記載しております。

奨学金制度

関西学院では、経済的な理由により学ぶことをあきらめざるを得ない生徒がいないように願っています。そのためにいろいろな奨学金を用意しています。

- ① 関西学院高等部・中学部支給奨学金
年間授業料の1/2
- ② 関西学院高等部・中学部貸与奨学金
第1種 年間学費(授業料+教育充実費)の2分の1
第2種 年間学費(授業料+教育充実費)の3分の1
第3種 年間学費(授業料+教育充実費)の4分の1
- ③ 関西学院中学部特別支給奨学金
年間授業料の全額

入試概要 ※今年度から入試日程が変わります

- 出願資格 2020年3月小学校卒業見込の者
- 検定料 20,000円
- 出願期間 生徒募集要項に記載

一般入試(A日程)	午前			午後
	60分	60分	45分	
2020年1月18日(土) 8:30~16:00	国語 200点	算数 200点	理科 100点	面接

- 募集人員 約100名(男子:約65名 女子:約35名)
- 合格発表 2020年1月19日(日) 16:00~17:00

一般入試(B日程)	午前		※A日程を受験した者には、合計点に10点を加算する。
	60分	60分	
2020年1月21日(火) 8:30~12:00	国語 200点	算数 200点	

- 募集人員 約40名(男子:約25名 女子:約15名)
- 合格発表 2020年1月22日(水) 16:00~17:00

帰国生入試	60分	60分		
2020年1月18日(土) 8:30~13:00	国語	算数	英語面接	保護者同伴面接

- 募集人員 若干名
 - 合格発表 2020年1月19日(日) 16:00~17:00
- ①小学校中高学年における海外での在住年数が2年以上の者で、現地校もしくははインターナショナルスクールに在籍していた者が望ましい。
 ②原則として、事前に部長または副部長との面談が必要です。

入試説明会

第1回	2019年6月22日(土) 9:30~12:00
第2回	2019年6月22日(土) 13:30~16:00

対象：小学生、保護者同伴
 予約不要ですが、毎回1,200名を超えた場合は立見となります。
 学校紹介、施設見学に加え、入試の変更について説明します。
 (2回とも同じ内容です)

オープンスクール

第1回	2019年8月23日(金) 9:20~12:00
第2回	2019年8月24日(土) 9:20~12:00

7月1日より、本校ウェブサイト上で申込受付を開始します(抽選)
 対象：小学校4年生以上、保護者同伴
 学校紹介、本校教員による体験授業、クラブ見学、施設見学、個別相談など。(2回とも同じ内容です)

学校説明会

第1回	2019年9月21日(土) 9:20~11:30
第2回	2019年10月5日(土) 9:20~11:30

9月1日より、本校ウェブサイト上で申込受付を開始します(抽選)
 対象：小学生、保護者同伴
 全校礼拝への参加、学校紹介に加え、実際の授業や施設も見学していただけます。(2回とも同じ内容です)

文化祭

2019年11月3日(日・祝)
9:00~15:00

どなたでも自由に見学していただけます。予約も不要です。
 個別相談コーナーを設置します。対象：小学校4年生以上

生徒募集要項(入学願書)

2019年6月22日(土)に販売開始予定
 生徒募集要項とは、入学願書など入試に関する事務書類のことです。
 中学部事務室にて販売、郵送も可(送料は本人負担)



「人生の根幹を形成する場になった中学部」

薄井 修司 1973年中学部卒 株式会社ウエルネスサプライ 代表取締役社長

1993年にスポーツ・温浴・遊園地などの施設の運営を担う(株)ウエルネスサプライを設立。
若い父親を育てるNPO法人「真おやじ塾」や子どもの立志教育などのボランティア活動にも注力。

中学部は、私にとって自分の生き方の根幹を形成した場になりました。仲間と助け合うキャンプやメチャビー、日々の礼拝など、学校生活を通して自然と“Mastery for Service”というスクールモットーがしみ込んでいきました。特に、先生方が何事にも親身になって対応してくれたことが大きかったです。同じく中学部で学んだ息子にも、関学の精神がしみ込んでいると思います。これからも社会のため、人のために自分ができることをしていきたいと考えています。



「良き師・友・先輩に出会える学びの場」

城戸 武洋 1995年中学部卒 独立行政法人国際協力機構(JICA)モロッコ事務所勤務

青年海外協力隊への参加やコンサルティング会社勤務を経て、2012年にJICA入職。
2009年にはコロンビア大学国際公共政策大学院を修了。

中学部での学びを通じて「海外の困っている人のために尽くしたい」という思いを持ちました。そのために関西学院大学で途上国の開発を学んだほか、民間企業や海外大学院で経験を積み、現在、途上国の経済・社会開発を支援する仕事に就いています。部活動やキャンプに、卒業生である関西学院大の学生がコーチやリーダーとして参加してくれるのが中学部の魅力だと思います。良き先生や友人、先輩と出会える環境の中で、自分の将来をじっくりと考えてみてほしいと思います。



「中学部に入ってなかったら、たぶん芸人やってないです」

橋本 直 1996年中学部卒 吉本興業株式会社所属 漫才コンビ「銀シャリ」メンバー

2005年結成の漫才コンビ「銀シャリ」メンバー。M-1グランプリ2016優勝。
毎日放送「ちんぷいぷい」、朝日放送「探偵!ナイトスクープ」にレギュラー出演するなど、テレビ・舞台を中心に活躍中。

中学部の生徒はみんな自立していて意識が高かったので、「えー、もうそんなこと考えてんのや?」と思うことが多かったです。色々な活動に積極的に参加したり、何かにめちゃくちゃ詳しくたり。そんな生徒達と互いに尊重しあえる関係で、非難したり排除したりしない。「オモロイやつやん」と個性を尊重してくれる空気が非常に良かったですね。それで、自分も堂々と自分の個性を主張できるようになったのかなと。中学部に入ってなかったら、たぶん芸人やってないですね(笑)。



「野球部時代の“縁の下の力持ち”精神を忘れずに」

笹山 大生 2007年中学部卒 株式会社毎日放送(MBS) 東京支社スポット営業部勤務

中学部・高等部時代は野球部で活躍。関西学院大学国際学部卒業後、2014年に毎日放送入社。
入社3年目で情報番組「せやねん!」のディレクターに抜擢される。

中学部の野球部で過ごした3年が一番の思い出です。バントという、地味ながらもチームにとっては必要な仕事にやりがいを感じて頑張りました。今では番組ディレクターという立場で、自分が編集したVTRを視聴者に届けていますが、野球部時代の「縁の下の力持ち」精神は忘れていません。出演者がおもしろくなるように、視聴者に分かりやすく伝えるように。「野球部」というチームから、「番組」というチームに変わっただけで、自分の立場を考えて行動するということは、何も変わりません。



「中学部で培った英語の力と感謝の気持ち。将来はCAに」

片山 理咲子 2015年中学部卒 関西学院大学国際学部1年生

中学部の共学一期生。リーダーシップをもって、中学部の新たな歴史をつくる。
卒業後も、青島キャンプリーダーやバレーボール部コーチとして後輩をサポート。

共学一期生ということもあって、身近に見本となる先輩がいない難しさがありました。しかし、当時の安田部長をはじめ先生方が、その姿で模範を示してくれました。周囲に感謝し、何事にも自分が率先して取り組む姿勢です。授業では、英語科のさまざまなシチュエーションを想定した授業が印象的で、英語を使うことが楽しくなりました。将来はCAになるのが夢です。英語を生かして、誰かに笑顔を与えられる人になりたい。これは、リーダーとして参加した青島キャンプでも感じる事ができました。



「自分に自信がついた中学部での3年間」

三宅 紗矢 2016年中学部卒 関西学院高等部2018年度3年生

冷静かつ着実な取り組みに、周囲からの信頼も厚い。
吹奏楽部に所属。指揮者やサクソ奏者として活躍。

読書科の授業で学んだ、図書館の活用しかた、情報のまとめかた、レポートの書きかたは高校生活でも役立っています。中学部図書館に海外の書籍やDVDがたくさんあったことから英語に興味を抱き、ニュージーランドに留学するきっかけになりました。吹奏楽部では、苦しいことがたくさんありました。しかし、地道な取り組みと感謝の気持ちが、誰かにしっかりと届いていることを知りました。また、新入生キャンプのリーダーを務めて、後輩達に感謝されたことが大きな自信になりました。

「関西学院で学べたことに感謝しています」

日野原 重明 1929年中学部(旧制)卒 聖路加国際病院名誉院長

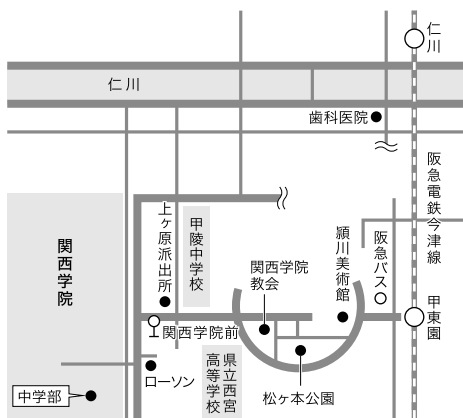
医療への患者参加など医療改革への提言、終末医療の実施や「生活習慣病」という言葉の普及など、医学の発展に尽力。勲二等瑞宝章、文化勲章受章。2017年7月18日、105歳で没。

関西学院の聖書の時間に学んだ「善きサマリヤ人」の話が非常に印象に残っています。この話は、強盗に襲われ身ぐるみ剥がされて倒れていた人を祭司や神殿に関わる人々が助けず通り過ぎた一方で、サマリヤ人だけがその人を助けたというものです。そしてみんなもこのサマリヤ人のようになりなさいと教えられました。自分が医者になってあらためて思うのは、どんなに貧しくても、あるいは豊かでも、どんな国籍でも、人間として平等に医療を提供することが必要だということです。関西学院で学んだ「善きサマリヤ人」の話は何度も思い起こしてきました。今、いろいろな患者さんを診ているわけですが、人種を超えて、年齢を超えて、病む人のために生涯をささげるのが私の務めであると考えています。そういう意識、そういうスピリットが、中学部の間に私に植え付けられたのではないかと思います。

関西学院とは聞かれると、やはりベーツ先生が提唱したスクールモットー“Mastery for Service”が浮かびます。この言葉こそが関西学院の精神であり、いつも私の中にあります。その精神の下で、現在も務めています。また、ランバス先生の存在も大きいですね。学生時代、ランバス先生は宣教師だとは知っていても医者であったことは知りませんでした。私自身が医者であるだけに、ランバス先生が医者でありながら世界中で宣教活動や教育に従事したというのは素晴らしいと思います。このように素晴らしい先生方によって支えられてきた関西学院で学べたことに感謝しています。



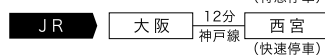
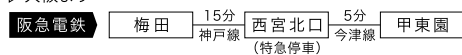
2014年9月28日 関西学院創立125周年記念スペシャルインタビューより抜粋



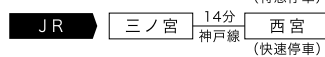
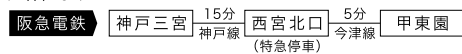
交通アクセス

【大阪・神戸から最寄駅まで】

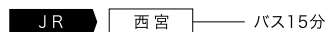
▷ 大阪より



▷ 神戸より



【最寄駅からの所要時間】



関西学院中学部
KWANSEI GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

Tel 0798-51-0988 Fax 0798-51-0892

<https://www.kwansei.ac.jp/jh/>